

説明：

近代的な屠畜の手法と、イスラームにおいて義務付けられる手法との比較。第四部：屠畜の近代的な手法の大半がイスラームにおいて推奨されない二つの別の理由とは、健康の問題に加え、その肉が非合法である可能性によるものです。

より M・アブドッサラーム

掲載日時 31 Dec 2012 - 編集日時 31 Dec 2012

カテゴリ：[記事](#) > [イスラーム的システム](#) > [健康と栄養](#)

健康

血液の除去

動物が死ぬ前に、最大限の血液が除去されていることが、その肉の清浄性にとって非常に重要であることは明白です。様々な気絶法において、動物たちは頭部への電気ショックや電気水槽によって心臓麻痺が引き起こされます。ドイツの大学による研究結果からは、家畜銃ピストルによって気絶させられた動物の心臓は、イスラーム的手法の屠畜よりも早く鼓動を止め、肉により多くの血液を留めたことが判明しています。電気ショックはまた、毛細血管を破裂させ、肉組織に血液を流出させます。これらの手法では血液を組織の中に留まらせ、微生物の繁殖を促しているのです。

食肉汚染

こうした気絶法は、狂牛病の牛から人への感染の一因である恐れがあります。テキサスA & M大学と、カナダ食品検査庁による研究では、空気噴射スタンガン（150ポンドの空圧によって牛の脳組織を粉砕させるボルトを打ち込むもの）はその破壊力から、動物の体中にその脳組織を撒き散らすことが分かっています。牛の脳の中に空洞を作り、スポンジ状にさせる狂牛病において、脳組織と脊髄は最も感染度の高い危険な部位であることから、この事実は憂慮すべきことです。そして米国産牛の30～40%は空気噴射スタンガンが用いられていることも、その懸念に拍車をかけます。

1992年、一流獣医学雑誌 *Research in Veterinary Science* によって *Inhalation of Water During Electrical Stunning in Chickens*（「ニワトリの電気水槽ショックにおける水の吸引」）という題目として出版されたグレゴリーとウィットントンによる調査によって判明したのは、「ニワトリは電気水槽のショックによって水を吸引しており、これに対する代替案は未だ提供されていない」ことです。また、鳥類は電気ショックの際に排便していることが分かり、気絶しなかった鳥はこうした汚れた水を飲み込み、肺から水が漏洩した場合、それは汚染を引き起こして不衛生な肉となります。

死肉である恐れ

これらの気絶手法の多くで、動物たちは意図的でないにしろ家畜銃ピストルや頭部への電気ショックなどによって屠畜される前に死んでおり、ガス処理においては意図的に殺され

ています。イスラームにおいて、それらは死肉として分類されるため、人が消費することは禁じられます。

結論

宗教法とは、あらゆる存在を創造し、無限の知識を有する神からもたらされるものです。この事実は、神によって宗教上義務付けられたすべての事柄は、こうした神の知識に基づいたものであるため、あらゆる面において最善であるということが必然とされます。イスラームにおいて義務付けられたもの、推奨されたものを分析すると、それらがいかなる状況においても最適なものであることが分かり、それらには利益を最大化し、危害を最小化するという共通の特徴が備わっているのです。一部の人々は、イスラーム的な屠畜手法が動物にとって残酷であると断定しますが、現実には全く逆の事実が示されています。動物虐待の烙印は、本来ならばイスラーム的な屠畜手法を用いず、動物に苦痛と難儀を強い、さらにはその肉を食べる消費者にとっても有害である手法に対して押されるべきなのです。

Sources:

出典：

Is Islamic Slaughtering Cruel to Animals? Dr. Aisha El-Awady

Is Stunning Animals Really Humane? Dr. Aisha El-Awady

Going for the Kill. Juliet Gellatley BSc (Zoology)

Sentenced to Death. Rebecca Smith

この記事のウェブアドレス：

<http://www.islamreligion.com/jp/articles/316>

Copyright © 2006-2012 www.IslamReligion.com. All rights reserved.